

# 歴史的環境の保存と調和した防災まちづくり研究の例

## 1 わが国の伝統的木造建造物の街並みと調和した防災まちづくり

歴史的文化財は、わが国の歴史と文化を物語る上で代えることのできない存在であり、その価値は後世に伝えていく必要がある。その反面、伝統的な街並みを構成する建築物の大半は木造構法で建てられているため、火災によっても簡単に焼失してしまうという火災安全上の大きな課題を抱えている。本研究では、歴史的街並みの良好な景観を保全しつつも、建築基準法で一般の市街地に対して要求される火災安全性能と同程度の性能を満たすことのできる防火改修技術の開発を行い、これを火災実験ならびに数値実験によって検証する。さらに、例えば京都市東山区などの実際の伝統的市街地を対象としたケーススタディを行い、ここで開発した技術を適用することで、歴史環境と調和した防災まちづくり計画の実現を目指す。



図 京都市東山区の街並み

## 2 欧米における歴史的建造物の保存、利用における 建築基準法・消防法等の規制と指導の実態に関する調査

英国・フランス・ドイツなどのヨーロッパ諸国、および米国において木造建築のある街並みの保存、あるいは歴史的建造物の保存、利用に於ける建築基準法・消防法等の現代の安全法令との調整並びに優遇措置(インセンティブ)、リスク管理、違反の摘発指導などの現状調査を行い、日本における歴史的建造物等の文化財の持続的活用保存に適用できる防火規制や指導のあり方、運用に生かすものである。



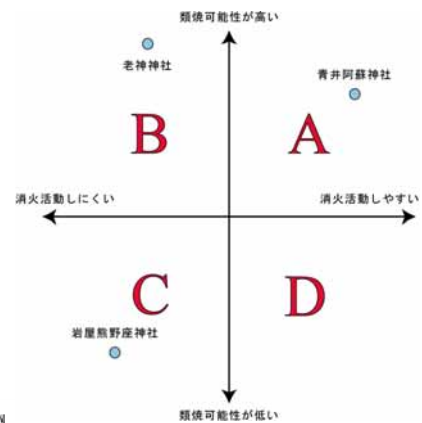
図 ドイツの世界遺産であるゴスラーの  
歴史的木造建造物の街並み

主な関係論文・資料:

[フランスに於ける文化財建造物の防犯・防災に関する研究](#)、日本建築学会計画系論文集、2009年12月

### 3 重要文化財建造物の防火対策に関する調査研究

我が国の重要文化財建造物の約9割が木造であり、約4割が植物性屋根を有しているという事実は、一方では、火災という災害によってこれまで大切に受け継がれてきた貴重な歴史的財産を一瞬にして失う可能性が高いことを意味している。こうした歴史的建築物に関する防火対策の研究は、飛騨高山や白川郷の伝統的建築物群保存地区や重要文化財建築物などの有名な文化財建造物について、近年、先行の研究例が見られるようになった。しかし、同じく可燃性材料で作られた重要文化財ではあるが、必ずしも有名ではない人里はなれた文化財建造物、あるいは人家の密集した普通の市街地に孤立しているものなど、各地に普遍的に存在する重要文化財建造物について、それぞれの周辺地域特性や建物自体の特性に応じた総合的な防火対策のあり方を体系だてて検討した例はきわめて少ない現状にある。このため本研究室では、奈良市や京都市、熊本県人吉市における重要文化財建造物を例に、周辺市街地や消防設備、消火体制などを詳細に調査し、当該建物や敷地内の消防設備条件のみならず、周辺市街地からの類焼可能性、消火活動の容易性、地域との連携の可能性なども考慮して重要文化財建造物を類型化し、これに適応する防火対策の多様なメニューを検討整理するという研究を行っている。



主な関係論文・資料:

文化財建造物にも「消防計画書」を、文化庁月報、2009年9月